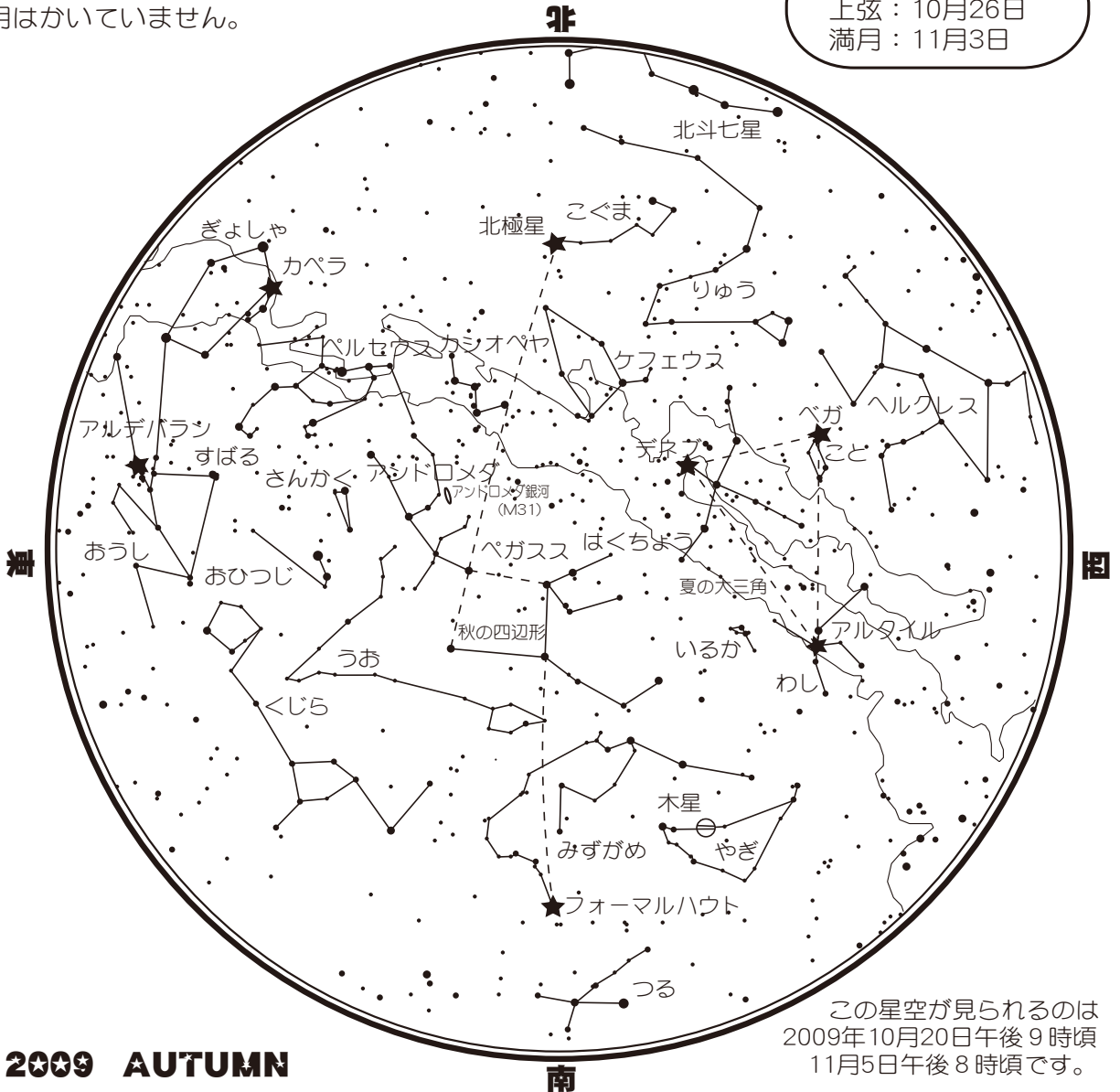


姫路で見る10月後半の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下に下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

新月：10月18日
上弦：10月26日
満月：11月3日



この星空が見られるのは
2009年10月20日午後9時頃
11月5日午後8時頃です。

2009 AUTUMN

★秋の星空めぐり★

夏の三角形が西の空にかたおき、東から北の空にかけては、ギリシャ神話のエチオピア王家の物語に登場する星座たちがせいぞろいしています。頭の上に見える「秋の四辺形」のペガサスのおへその星からアンドロメダ、カシオペア、ケフェウス、ペルセウスの姿、少しはなれたところに、ペルセウスに退治され石になって海に沈んだお化けくじらの姿を探してみましょう。また四辺形の西の一边をのぼしたところには、秋の星空でただひとつ

の一等星フォーマルハウトが輝いています。ほかにも秋の四辺形を目印に、みずがめ座やうお座の星をたどってみましょう。

今年はやぎ座の中に太陽系の最大の惑星、木星が輝いています。太陽の周りを12年かけてゆっくりと回る木星は、一年に1つずつ星座の中を移動していくように見えます。

東の地平線近くには、冬の星座の星たちが少しずつ見え始めました。おうし座の背中で見られるすばるやアルデバラン、ぎよしゃ座のカペラを探することができます。